

化石発見！！

恐竜などの迫力ある大型爬虫類の化石の展示は、国立科学博物館の展示の中でもひと際目を引く存在ですね。しかし、これらの生物は絶滅したため、誰も本物を見たことがありません。どうやって、復元したり分類したりしていくのでしょうか。



展示のテレビを見てみよう！
何かわかるかも。



日本 館 3 階 北入口 フタバズキリュウ



1 高校生が化石を発見！～フタバズキリュウ～



「フタバズキリュウ」と名付けられた理由を書いてみよう。
一緒に展示してある化石から、どこでくらしていたかを考えてみよう。

- ・福島県いわき市で発見された首長竜の化石。
- ・地層と発見者の名前にちなんで、「フタバズキリュウ」と名付けられている。
- ・全身のほぼ70%が発見されている、日本でもっとも完成度の高い爬虫類化石。

名前の情報、発見者が高校生であったこと、科学博物館の研究者との交流から、興味を持たせます。
フタバズキリュウの骨にサメの歯が刺さっていたことから、海で泳いで暮らしていたことに気が付かせます。



化石を発見

日本 館 3 階 北11 日本で初めて発見された恐竜



2 地層をじっくり見てみると～日本初の大発見！～



「モシリユウ」の化石が発見されたときのエピソードをまとめよう。

- ・1978年に日本で初めて発見された恐竜
- ・岩手県岩泉町茂師町の地層から発見。
- ・陸に住んでいた恐竜の上腕骨がサンゴ礁の海に運ばれた。
- ・これをきっかけに、日本各地から恐竜の化石が発見されるようになった。

日本で初めて発見された恐竜の化石から、興味を持たせます。
地層のでき方と関連付けて、陸⇒海⇒陸のダイナミックな大地の変動に気が付かせます。また、日本列島が海であった年代の情報と合わせて、化石発見のドラマにも気が付かせます。



発見さ

岩手県の宮古市で発見！どうして見つけられたのかな？





3

恐竜化石が発見されたら

さあ、ここから地球館！
展示を見ながら、説明パネルをじっくり読んでみましょう。



鳥盤竜バンピラプトルの化石を復元するまでの道のりを記入してみよう。印象に残った工程と理由を書いてみよう。



選んだ工程と理由

【 クリーニング と 復元 】
土やごみをきれいにするための道具がたくさんあるから
骨を組み立てて、もう一度恐竜になるのがすごいと思ったから



鳥は哺乳

化石の発見から復元の流れに興味を持たせます。
生徒の印象に残った工程と理由の記述から、興味をもつ内容を明らかにします。
問いから、哺乳類と爬虫類の展示の観察に目を向けて、共通の祖先に気付かせ、
進化の学習を促します。



地球館B1「地球環境の変動と生物の進化－恐竜の謎を探る－」で印象に残った恐竜を絵や文で紹介しよう。



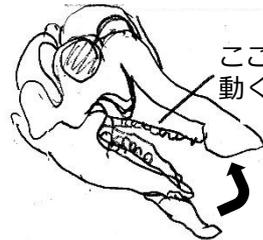
感じたこと

わかったこと

考えたこと

例)

- 鳥盤竜恐竜の進化の展示では、ピパクロサウルスの顎の骨格が、上下左右に動くことで、植物をすりつぶしやすい歯のつくりになっていたこと。



学習指導要領 生命の連続性「生物の種類の多様性と進化」では、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを学習します。日本館で日本で発見された恐竜から恐竜の発見と地層との関わりで考え、地球館に移動して恐竜の発見から博物館での展示の道のりへと学習を進めます。ここで、哺乳類と爬虫類の展示と比較し体のつくりと関連付けをすることで、進化について理解を深め、生物の展示を見学する動機付けとなる学習内容です。



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年

組

番

氏名